

『第5回島根大学中国語・中国文化講演会』

演題

『同じ漢字でも——日本語と中国語』

講師

上野恵司 先生

日本中国語検定協会理事長



現代中国語は「簡体字」と称される大胆に簡略化された文字を使用しており、日本語の方も戦後の当用漢字（のちの常用漢字）においてかなり簡略化されているが、元をただせば文字は共通している。

文字を共有していることは、互いに相手の言語を学ぶうえで断然有利である。

ただし、よほど注意しなければこの「利点」は思わぬ「落とし穴」になる。ではこの「^{かんせい}陥穽」に落ちないようにするには、どうすればよいか。

日 時：令和元年7月19日（金曜日）13：30～15：00

場 所：総合理工学部3号館 多目的ホール(210)

対 象：特別副専攻中国語実用化プログラム履修者、中国語I履修者、並びに中国語・中国文化に興味関心のある全学の学生、教職員

主 催：島根大学外国語教育センター

参加申し込み：外国語教育センターワークステーション（総合理工学部2号館1階、玄関入って左すぐ）7月5日（金）までにお申し込みください。なお、当日参加も可。

問い合わせ先：島根大学外国語教育センター担当事務（TEL&Fax：0852-32-9837）

E-mail：hirose@soc.shimane-u.ac.jp（外国語教育センター 廣瀬 浩三）

事前申し込み者には、

4級または3級過去試験問題（解答・解説・CD付）を進呈!

[先着50名程度]

掲示期限：2019年7月19日（金）